

「MICRO CADAM ライセンス情報取得ツール」 利用ガイド

2016 年 4 月

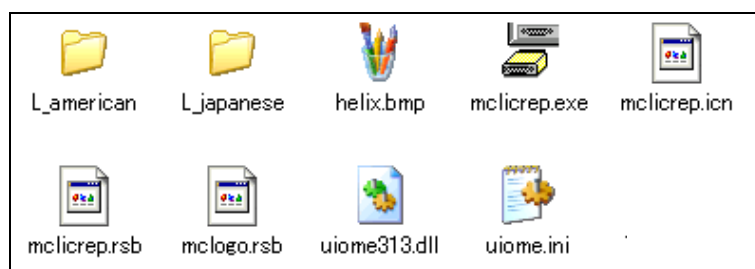
Windows 版

STEP-1 ツールのダウンロードと展開

ライセンス情報取得ツール(winmclcrep.zip)を、弊社ホームページからダウンロードしてください。
ダウンロードした「winmclcrep.zip」を任意の作業用フォルダーに展開して利用します。

STEP-2 利用準備

展開後、作業用フォルダーに、下図のような 2 つのフォルダーと 7 つのファイルが展開されます。



※ このツールを使ってライセンスデバイス(以下LDと略す)の情報を取得する場合、LD用のドライバーを事前に導入しておく必要があります。このLD用のドライバーは過去に1度でもMICRO CADAM(製品版)を導入されていれば、同時に導入されますので、その場合はあらためての事前の導入は不要です。
ただし、過去においてMICRO CADAMを1度でも導入したことがないコンピュータでこのツールを使う場合は弊社営業担当者経由で事前にドライバーの入手/導入を行ってください。(MC V3.1以下でPFKのみのライセンス情報を取得する際は、このドライバーの導入は不要です。)

<利用方法>

本ツールはインストール不要です。上記の2つのフォルダーと7つのファイルを同じフォルダーにコピーするだけで利用可能です。

利用にあたっては、以下のような方法があります。

- 1) CD-ROMに焼いてCD-ROMから起動する
- 2) USBメモリーメディア等にコピーして利用する
- 3) 取得するコンピュータに任意のフォルダーを作成し、必要なファイルをコピーして利用する

STEP-3 ライセンスデバイス/プログラムキーボードのコンピューターへの接続

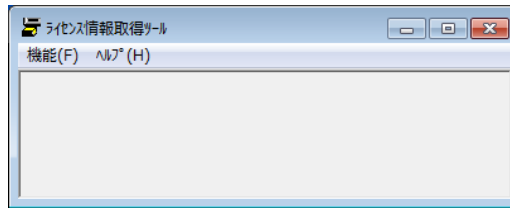
ライセンス情報取得ツールは、複数個のLDと1個のプログラムキーボード(以下PFKと略す)をコンピューターに接続することにより、LDやPFK内のライセンスを同時に確認することが可能です。

LDはひとつずつ交互に差し替えていただくか、複数個をカスケード接続(数珠繋ぎ)した状態で複数分をまとめていただくか、いずれかの方法で情報取得できます。カスケード接続可能なLDの個数に制限はありませんが、あまり多くを接続すると、接続状態が悪くなり、データの取得ができない場合もあります。

STEP-4 ライセンス情報取得ツールの起動

「mlicrep.exe」のアイコンを Windows エクスプローラーからダブルクリックする、もしくは、コマンド・プロンプトでコマンド入力して実行します。

「mlicrep.exe」を起動すると、次図のようなウィンドウが起動します。



メニュー[機能(F)] で表示されるのは以下の 3 つのメニューです。

- [作成(C)] : LD及びセキュリティーROMのライセンス情報と、対象となるマシンのTarget-IDとを取得し、ライセンス情報を暗号化してファイルに書き出します。
書き出されるファイル名は、以下になります。
LDの場合は RL+LDシリアル番号(拡張子:bin)
S-ROMの場合は RL+ROM+シーケンシャル番号(拡張子:bin)
LDをカスケード接続した場合は、LDごとに複数のファイルに分かれて作成されます。
- [印刷・表示(D)] : LDおよびセキュリティーROMのライセンス情報と、対象となるマシンのTarget-ID情報とを表示したり、印刷したりする事が可能です。
- [マージ(M)] : 作成された複数の取得情報ファイルの内容を 1 つのファイルに結合できます。

STEP-5 取得情報ファイルの作成

[作成(C)]を選択すると下図の画面が表示されます。



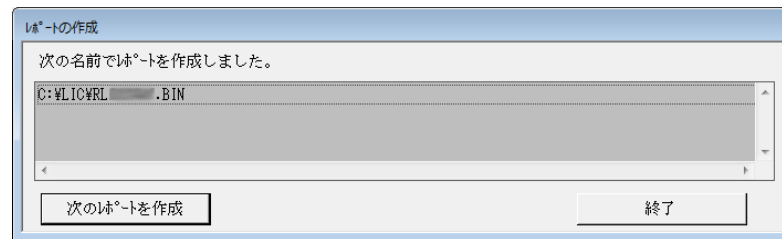
ライセンス取得情報ファイルの格納先の初期値は、ツールを起動したフォルダーと同じフォルダーになります。

他のフォルダーに格納したい場合は、**参照...** ボタンにより任意のフォルダーを指定し直してください。

※ PFKを接続してS-ROMの情報を取得する場合は、PFKの接続ポート番号の設定がどうなっているか確認の上、以下のSTEPに進んでください。

(ポート番号は、Windows 版では初期値 1、AIX 版では初期値 0 となっており、お客様独自でMCADAMn.SYSのMCLPFKパラメーターで設定を変更されている場合は、それに合わせてください。)

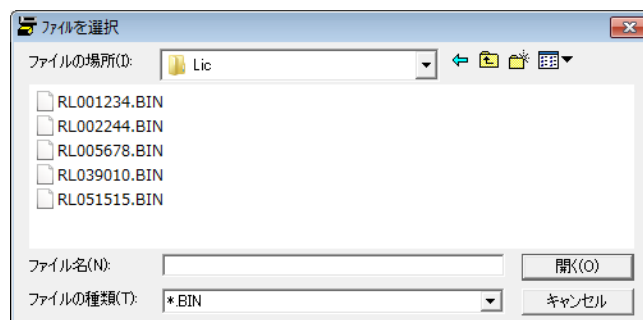
格納先の指定が終わりましたら、**実行** ボタンにより、ライセンス情報と Target-ID の取得を行ってください。



引き続き、別の LD の情報を取得する場合は、LD を差し替えてから、「次のレポートを作成」を行ってください。すべての LD の情報収集が終わりましたら、**終了** を押してこのウィンドウを閉じます。

STEP-6 取得情報ファイルの表示・印刷

[機能(F)]→[表示・印刷(D)]を選択すると下図の画面が表示されます。



内容を確認したい取得情報ファイルを選択し、**開く(C)** を指定すると、以下のような取得されたライセンスと Target-ID の情報が表示されます。

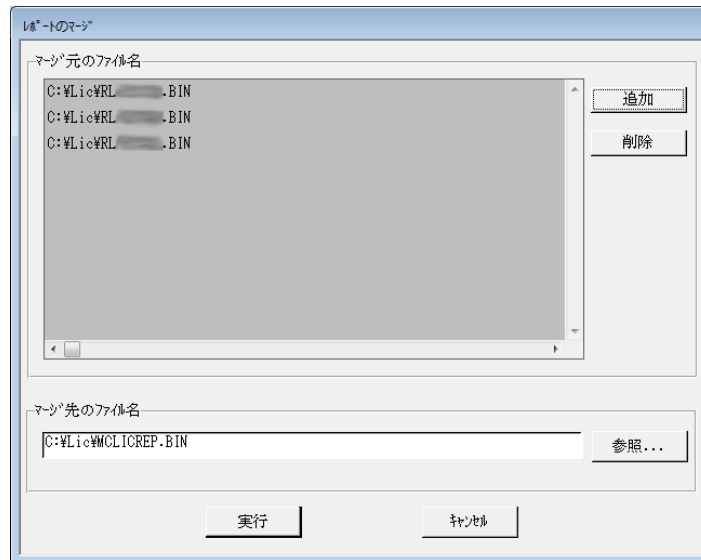


印刷の設定 により、印刷先のプリンターの指定、印刷の向き、用紙サイズ等を設定し、**印刷** ボタンにより出力します。処理が終了しましたら、**閉じる** によりウィンドウを閉じます。

STEP-7 取得情報ファイルのマージ

複数の取得情報ファイルを1つのファイルに統合できます。

[機能(F)]→[マージ(M)]を選択すると下図の画面が表示されます。



ウィンドウ下部で結合先のファイル名を指定した後、**追加** ボタンで対象となる取得情報ファイルを1つずつ指定して、複数の取得情報ファイルを1つのファイルに結合できます。

結果は、STEP-6 で説明した[表示・印刷(D)]により内容の確認・印刷ができます。



(マージ結果の例)

処理が終了したら、**閉じる** によりウィンドウを閉じます。

※LD/PFKの接続状態が悪いと情報が取得出来ない場合がありますので、ご注意ください。

AIX 版

AIX 版も運用手順は、Windows 版と同様です。

ただし、インストール前の準備、およびセッティング・起動の際に OS の違いによる相違点があります。

1) インストール前の準備

Windows 版と同様に弊社ホームページから、tar 形式のファイル (**mclicrep.tar**) をダウンロードします。

ダウンロードしたファイルを展開して利用します。

展開後に利用するメディアによって使用方法は異なりますが、以下は AIX コンピューターに展開する場合の手順を説明します。

1. aixterm または dtterm のウィンドウを画面に表示します。
2. アーカイブの導入先となる任意のディレクトリーを作成します。
/usr/の直下に、/mchelix/admin という導入先となるディレクトリーを作成します。
(以下、この例では/usr/mchelix/admin に導入する前提で説明を進めます)

```
# mkdir -m 755 /usr/mchelix/admin
```

3. 事前にダウンロードしたファイルを導入先ディレクトリーに移動します。

```
# mv mclicrep.tar /usr/mchelix/admin
```

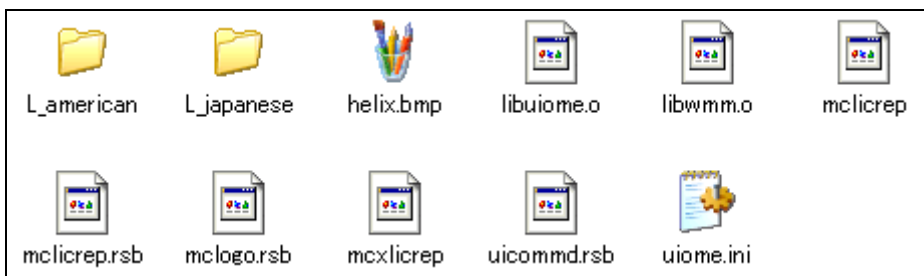
4. カレント・ディレクトリーを導入先ディレクトリーに切り替えます。

```
# cd /usr/mchelix/admin [改行]キー
```

5. tar 形式からの展開

```
# tar -xvf mclicrep.tar [改行]キー
```

ファイルを展開すると、以下のような2つのフォルダーと9つのファイルがカレント・ディレクトリーの直下のサブディレクトリー「mclicrep」に作成されます。



※ 展開した後は mclicrep.tar は不要ですので、削除してください。

2) ライセンス情報取得ツール(AIX 版)の起動

1. aixterm または dtterm のウィンドウから次のコマンドを入力して、ライセンス取得ツールを起動します。

```
# ./mclcrep [改行]キー
```

3) 起動後の操作手順

ライセンス情報取得ツール起動後の操作手順は Windows 版に準じますので、Windows 版の説明をご参照ください。

細かい点についてはインストールする AIX 機の環境によって異なりますので、個々の環境の違いによる AIX のコマンドの実行は、AIX のルールに準じて対応してください。

以上

このツールに関するお問い合わせは、下記窓口までメールにてお願いいたします。

株式会社 CAD SOLUTIONS

<MICRO CADAM カスタマーセンター>



mccc@cad-solutions.co.jp